

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム  
2009年度第8回常任委員会 議事録

1 日時:2009年11月26日(木)午後4時から8時まで

2 場所:東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 2階 266区 JPF事務局

3 出席者の確認

常任委員

NGOユニット:長有紀枝(常任委員会規約第10条5項に則り、第二部から出席)

NGOユニット:橋本笙子(常任委員会規約第10条5項に則り、第二部から出席)

外務省:川口三男(梨田委員の代理)

日本経団連:斎藤仁

財団:加藤広樹

オブザーバー

外務省:飛林、今泉

AAR:堀江、坪井、野際、穂積、広谷

ADRA:渡辺

BHN:山崎

CARE:武田

CF:横山

HFHJ:山本

HuMA:徳光

ICA:佐藤、田村

JADE:田中、宮武

JCCP:大上

JEN:大野、渡邊

JRSC:高崎

KnK:大竹

NICCO:折居

PWJ:山本、山元

SCJ:今福

SNS:大久保

4 座長の選出

本会座長として、外務省川口氏を選出した。

5 第一部: 審議事項

(1) 第一号議案:フィリピン水害被災者支援にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

ICA「フィリピン水害被災者緊急支援事業」(政府支援金)

承認。

JAFS「リサール州タリム島における水害復興支援事業」(政府支援金)

却下。

前回常任委員会で再提出となった案件であるが、シェルター建設から入居までの全体計画が不明瞭であること、技術移転のワークショップがどの程度の成果をあげることができるか疑問が残るため。

KnK「バゴンシーラン地区における被災した青少年への物資供与及び心理社会的ケア」

(民間資金)

承認。

JPF「モニタリング及び事業実施報告書作成事業」(政府支援金、民間資金)承認。

- (2) 第二号議案:スリランカ北部人道支援にかかる事業計画の承認  
審議への導入として、事務局から本支援の現状等について概要説明がなされた。  
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

PARCIC「ジャフナ国内避難民の帰還後の生活再建支援事業」(政府支援金)承認。

SCJ「北部避難民緊急・帰還支援事業」(政府支援金)承認。ただし、人件費を削減すべく再度見直すことが留意事項として付された。

WVJ「スリランカ北部における国内避難民支援事業」(政府支援金)承認。

JEN「スリランカ北部における避難民支援事業」(政府支援金)再提出。帰還民支援の具体的計画が含まれていないため。

PWJ「東部トリンコマレにおける避難民キャンプ緊急支援及び帰還民再定住支援事業」(政府支援金)承認。

JADE「スリランカ北部帰還者支援事業」(政府支援金)承認。

- (3) 第三号議案:スマトラ島西部パダン沖地震被災者支援にかかる支援期間の延長および追加資金拠出の承認  
事務局より11月24日に開催されたコア・チームの答申について説明がなされた。常任委員会は以下の内容を承認した。

- ・JPFとしての支援対応期間は2010年10月2日までとするが、政府資金対象事業については4月2日(初動対応開始から6カ月間)までとする。
- ・追加助成拠出額は政府支援金からあらたに1億円を上限として拠出する。

なお、支援期間延長に際して適切な時期に事務局によるモニタリングを実施する。

- (4) 第四号議案:ミャンマー・サイクロン被災者支援にかかる事業開始延長についての承認  
BHNの「地域一斉同報システム構築事業」について事務局より以下の提案がなされ、これを承認した。

- ・ミャンマー政府による事業許可を取得する期限を2009年12月31日まで延長する。

6 第二部: 審議事項

- (1) 第一号議案:2009年度第7回常任委員会議事録の承認  
事務局より2009年度第7回常任委員会議事録(案)が上程された。審議の結果、同案をもって当該議事録とすることを全会一致で可決した。

7 第二部: 協議事項

- (1) JCCPに対する改善要求の報告について  
改善要求に対してJCCPより改善策が提出された。あわせて、11月24日に事務局が実査を行った旨の報告がなされた。また、事務局より以下の提案があり、これを確認した。  
・事務局の実査の際に確認できなかった項目の証憑と出納帳のつきあわせが完了した時点をもって、新規助成契約および事業申請停止の措置を解除する。

8 第二部: 報告事項

(1) 事務局運営費の報告について  
事務局より事務局運営費についての報告がなされた。

(2) その他  
事務局より事務局職員の給与制度改定について、進捗状況の報告がなされた。

9 第三部：協議事項

(1) アフガニスタン支援への関心表明について  
11月26日付けでアフガニスタン・パキスタン人道支援にかかわる関心表明が11団体より提出された。同関心表明を受け今後の進め方について事務局案が提出され、これを確認した。

なお常任委員より、治安情報を含め情勢分析を入念に行い、その情報を積極的に共有すること、共通の安全原則の検討、および支援領域の重点を絞る必要があるとの指摘があった。

10 第三部：報告事項

(1) 事務局のフィリピン出張報告について  
事務局よりフィリピン出張の報告がなされた。  
また、出張に同行した橋本常任委員より被災地の復旧状況を鑑みると支援期間の延長が必要でないかという見通しが報告された。

(2) 支援事業の概要報告について  
常任委員より、明らかに事業が終了しているにもかかわらず概要報告書を提出し邸内団体があるので、それらの団体には適時の報告を行うよう注意を促したいとの付言があった。

ミャンマー・サイクロン被災者支援

以下の事業について概要報告がなされた。

AAR「ミャンマー（ビルマ）・エヤワディ管区及びヤンゴン管区におけるサイクロン被災者への衣料支援事業」（民間資金）

パキスタン北西部人道支援

以下の事業について概要報告がなされた。

CARE「北西辺境州マルダン県における緊急支援物資配布事業」（政府支援金）

CARE「北西辺境州マルダン県における緊急支援物資配布事業」（民間資金）

フィリピン水害被災者支援

以下の事業について概要報告がなされた。

AAR「マニラ首都圏およびカラバルソン地方における台風16号被災者支援のための初動調査及び物資供与事業」（民間資金）

ADRA「初動調査及び生活物資配布事業」（政府支援金）

CF「フィリピン大規模洪水被害に対する緊急物資配布支援」（政府支援金）

HuMA「フィリピン水害被災者支援のための初動調査」（政府支援金）

HuMA「フィリピン水害被災者に対する医療支援事業」（民間資金）

ICA「フィリピン台風による被災者の初動調査及び物資配布」（政府支援金）

JAFS「初動調査及び生活物資配布事業」（政府支援金）

KnK「バゴンシーラン地区における被災者への物資配給及び青少年保護事業」（民間資金）

スマトラ島西部パダン沖地震被災者支援

以下の事業について概要報告がなされた。

AAR「初動調査事業」（政府支援金）

ADRA「スマトラ島初動調査及び支援物資配布事業」（政府支援金）

JEN「スマトラ地震被災者支援 初動調査・緊急支援事業」（政府支援金）

NICCO「スマトラ島における緊急医療支援事業」（政府支援金）

SCJ「スマトラ島西部パダン沖地震における初動調査」（政府支援金）

- (3) 書面による報告について  
事務局より、書面をもって以下の事項の報告がなされた。  
政府支援金および民間資金財務状況の報告  
企業との連携の報告  
事業計画変更の報告  
メール審議結果の報告  
固定資産処理の報告  
コア・チームの報告  
JPF事務局審議結果の報告  
終了報告書審議結果の報告

なお、完了報告の期限が守られていないケースが散見されることに関して、常任委員より団体ごとに終了報告書の提出の遅れを履歴化し、各団体の次年度のカテゴリー審査における判断材料にするなどの措置を検討する必要があるのではないかとの意見が出された。

- (4) 次回以降の常任委員会の開催日時・会場について  
会場をJPF事務局とし、以下の日程で常任委員会を開催することとした。  
2009年度第9回常任委員会：12月22日（火）16時より  
2009年度第10回常任委員会：1月27日（水）16時より  
2009年度第11回常任委員会：2月19日（金）16時より

以上